

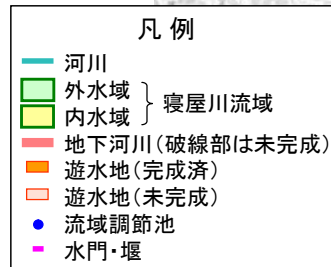
# 寝屋川流域とは

## 流域の概要

寝屋川流域は、大阪市東部を含む12市（大阪市、守口市、枚方市、八尾市、寝屋川市、大東市、柏原市、門真市、藤井寺市、東大阪市、四條畷市、交野市）にまたがっており、その面積は267.6 km<sup>2</sup>（東西約14km, 南北約19km）で、東側を生駒山地、西側を大阪城から南に伸びる上町台地で区切られ、北側と南側は淀川と大和川に囲まれています。



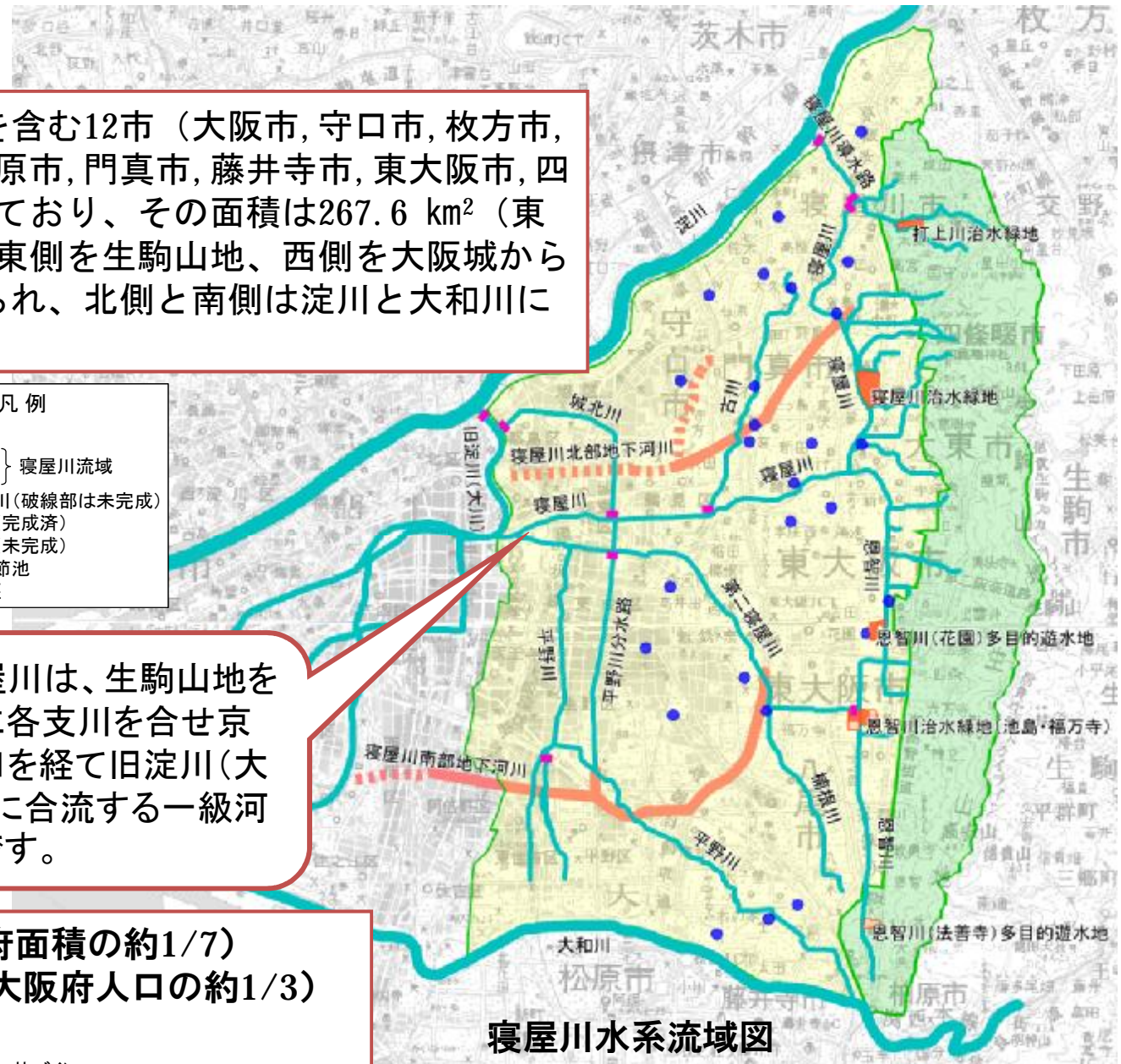
寝屋川水系位置図



寝屋川は、生駒山地を源に各支川を合せ京橋口を経て旧淀川(大川)に合流する一級河川です。

流域面積：267.6km<sup>2</sup>（大阪府面積の約1/7）  
流域の人口：約273万人（大阪府人口の約1/3）  
流域の資産：約51兆円

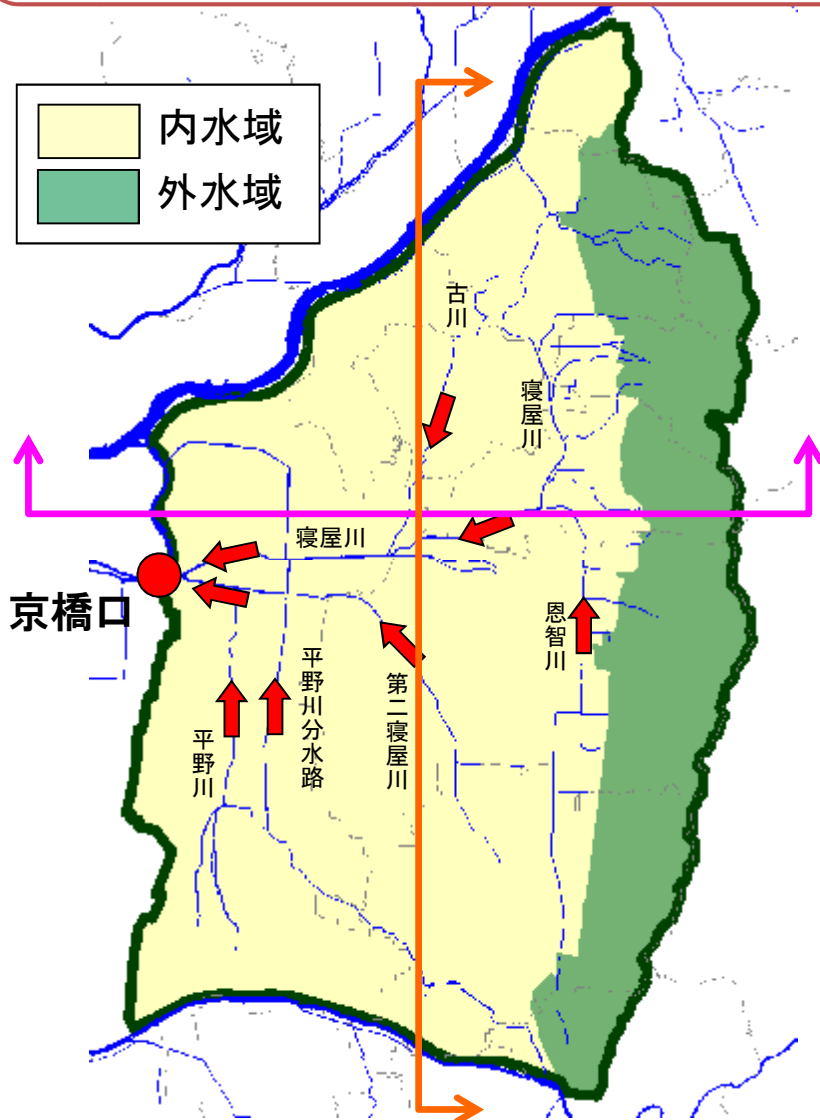
(H17年国勢調査およびH18年事業所・企業統計調査に基づく)



寝屋川水系流域図

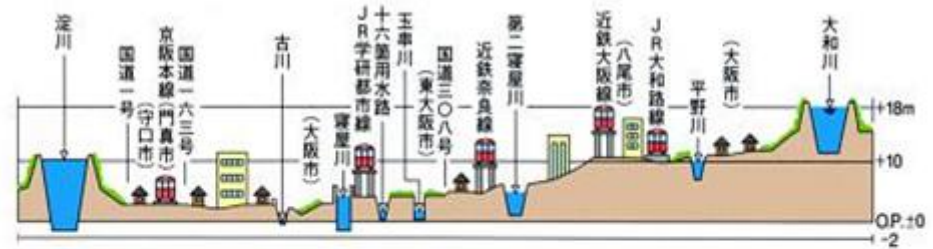
# 寝屋川流域とは

- 寝屋川流域は、地形的な特性から水はけが悪く、流域面積の約3/4が雨水排水をポンプなどの施設に頼らなければならない川より低い地域(内水域)です。
- 寝屋川流域では、河川によって集められた雨水の出口は京橋口の一箇所しかありません。



地盤高断面図

南北方向



東西方向



川より低い地域  
(内水域)



寝屋川流域は、川より低い地域であることに加え、都市化により雨が地面に浸み込みにくいことから、浸水が発生し易い地域です。



# 寝屋川流域とは

- 寝屋川水系は、大小30もの河川から成っています。
- 市街地を流れる河川の多くは特殊な背の高い堤防によって洪水から街を守っています。
- 生駒山地付近の河川では、自然が多く残っています。

①寝屋川（下流部）



②寝屋川（中流部）



③城北川



④古川



⑤恩智川（下流部）



⑥恩智川（中流部）



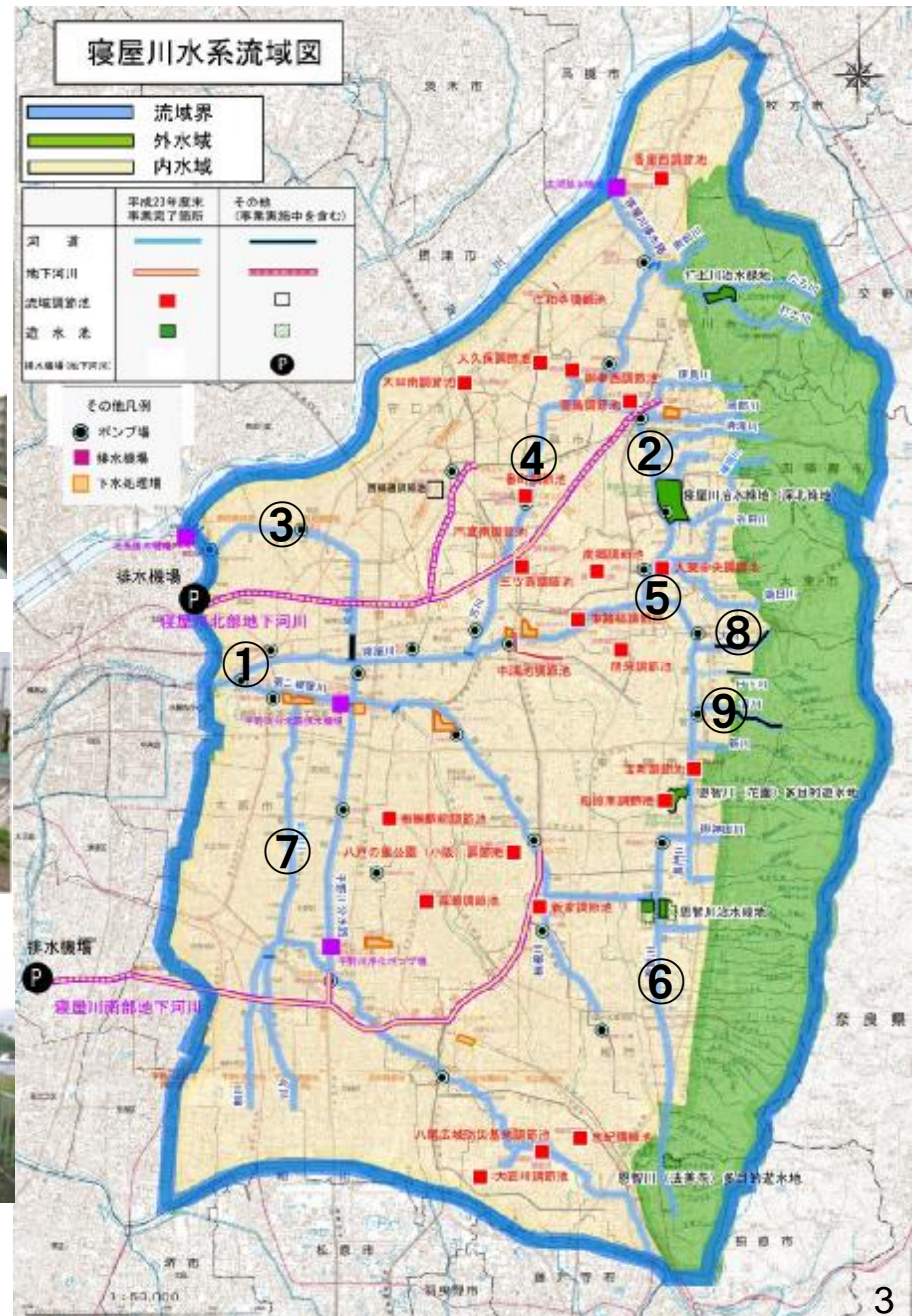
⑦平野川



⑧大川



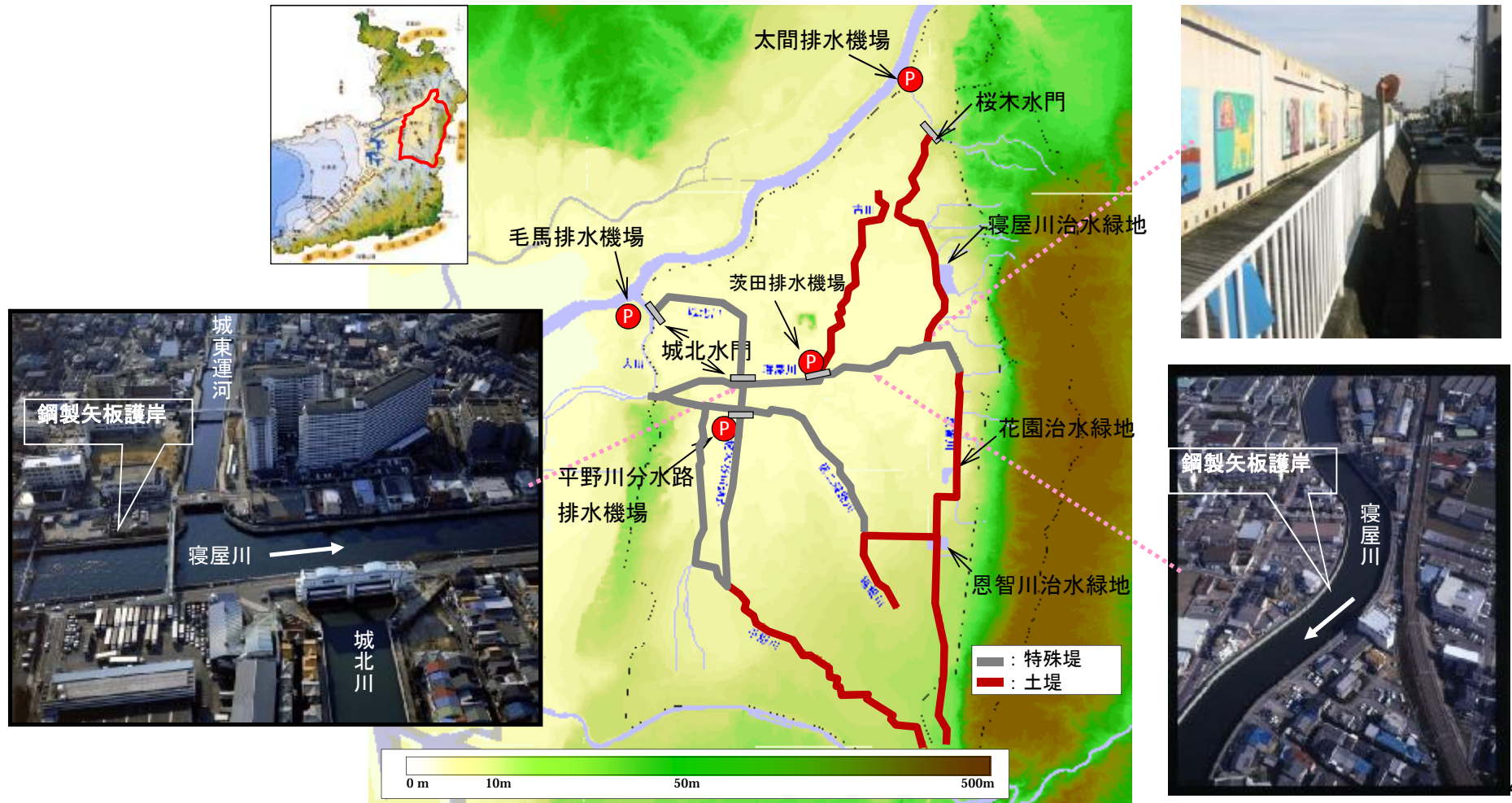
⑨音川



# 寝屋川流域とは

## 寝屋川流域の特徴

- 河川堤防は、概ね中下流域が特殊堤、上流域が土堤で整備されています
- 流域の大部分が感潮区間で、下流側の河川水位の影響を受けるエリアが広範囲にわたっています。
- 遊水地や水門、河川ポンプ等複数の治水施設が存在していることから流れが複雑(単一方向の流れにならない区間が多々ある)。



# 寝屋川流域とは

## 寝屋川流域の特徴

- 1 淀川と大和川からの流送土砂の堆積により河内湾の埋め立てが進行していきました。
- 1 同時に、縄文海進の終息による海面の低下により水際線が後退(西へ移動)、後に河内平野と呼ばれる低湿地が形成されました。

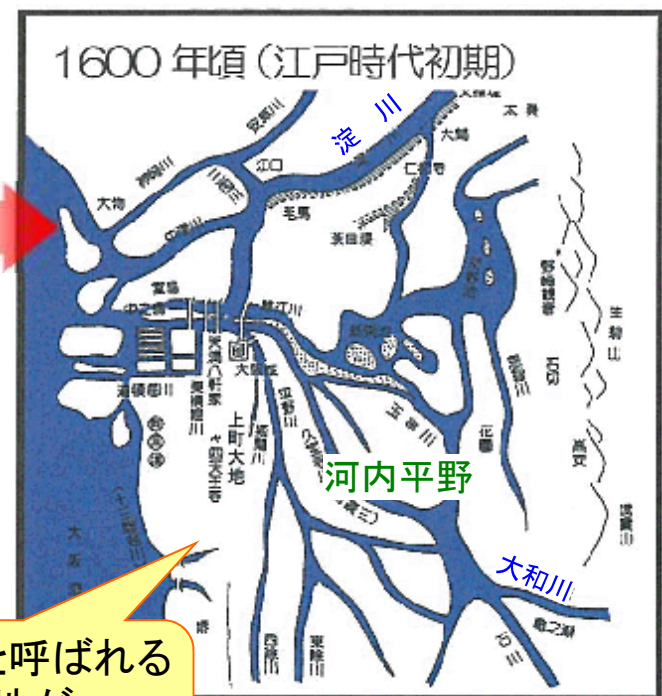
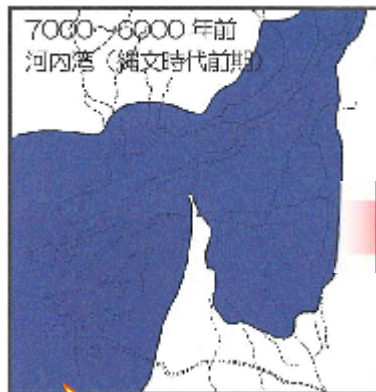
流送土砂により埋め立てられた河内平野

7000～6000年前  
河内湾

3000～2000年前  
河内潟

5～6世紀頃  
河内湖

1600年頃



6000～7000年前  
河内平野は  
海でした

時を経て  
流送土砂が  
堆積し...

河内平野と呼ばれる  
低湿地が  
形成されました

# 寝屋川流域とは

## 寝屋川流域の特徴

- 流域の人口は戦後から高度経済成長期の間で急激に増加し、流域の都市化が進展しました。



1961



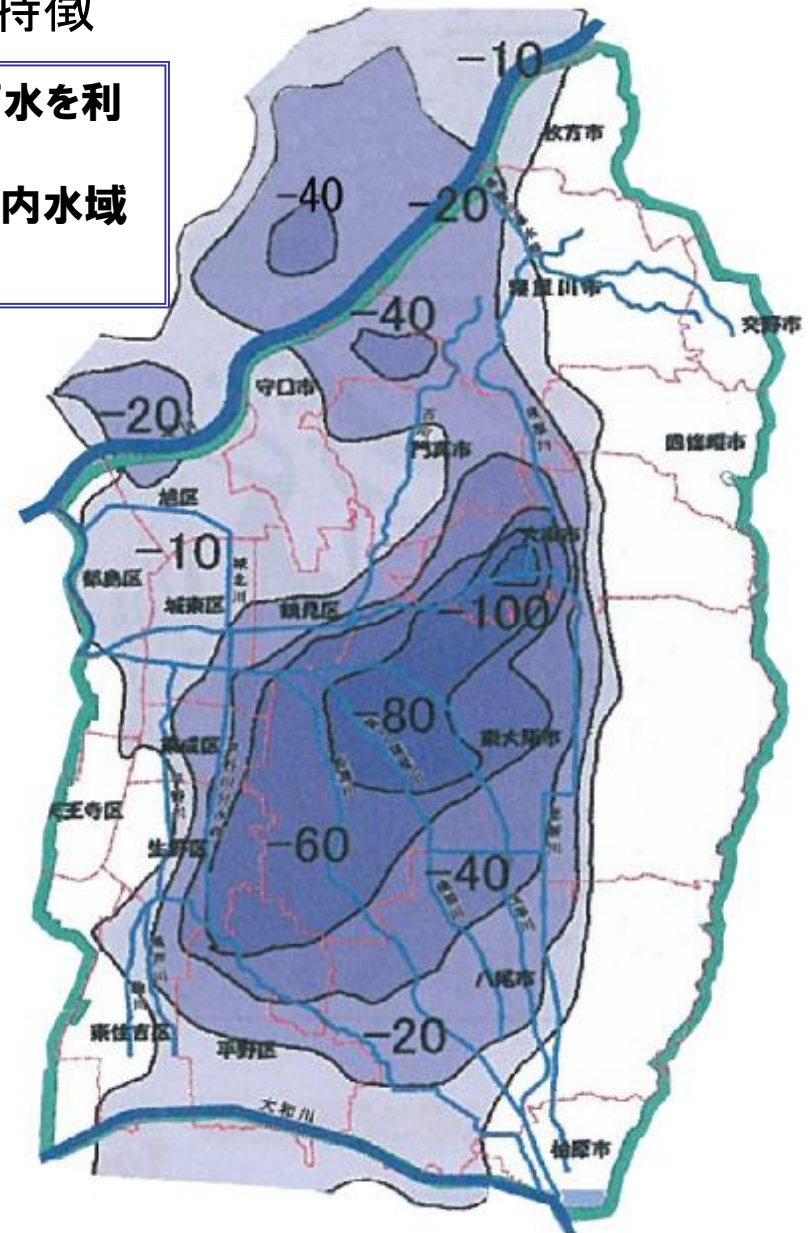
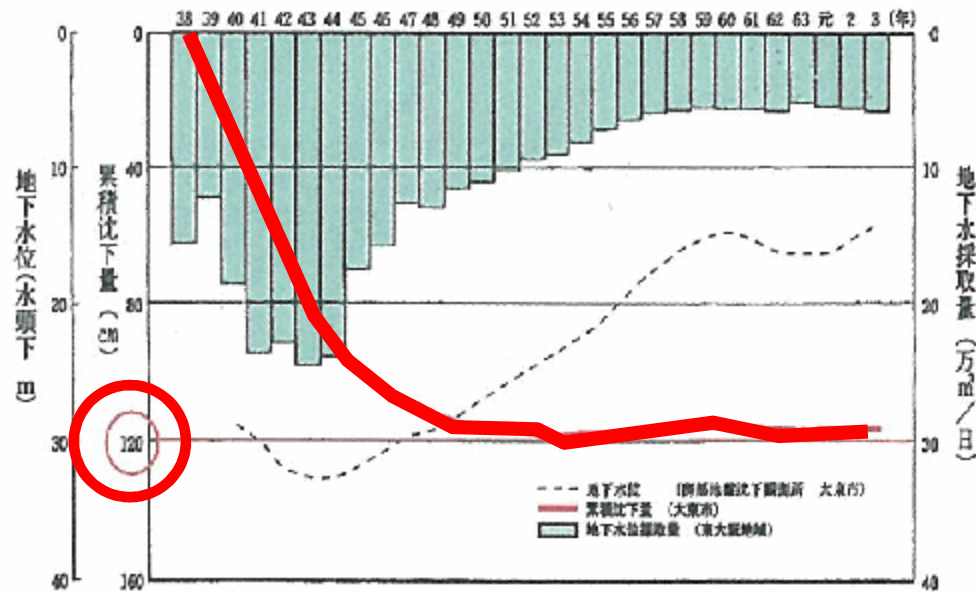
1995

# 寝屋川流域とは

## 寝屋川流域の特徴

- 高度経済成長期には工業用水や上水道用水として地下水を利用していたが、過剰な汲み上げにより地盤沈下が発生。
- 地盤沈下は河床勾配減少による河川流下能力低下や、内水域の排水不良を増大させました。

- 累積で最大約120cm沈下
- 地下水の汲み上げ規制や工業用水道への転換により、現在ではほぼ安定



1964年～1996年までに沈下した高さ(cm)

## 寝屋川流域とは(まとめ)

- 1** ▼河内平野は海だった  
元々土地が低い
- 2** ▼都市化の進展  
雨水の流出が増加
- 3** ▼高度経済成長期の地盤沈下
- 4** ▼河川からの雨水の出口が京橋口の1箇所